

チェック1 いざというときにどうする？ 日ごろからの備えが重要です。

家庭で

□避難経路や危険箇所を知る

避難場所までの経路を確認



□家具類を固定

転倒や落下を防止



□地域の自主防災組織へ参加

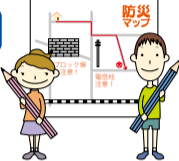
地域で協力



地域や自主防災組織で

□地域の防災マップを作る

□地域ぐるみの避難体制を作る



避難場所メモ

□非常持出品を用意

家族構成に合わせて準備



□災害時の役割分担や避難場所、連絡方法を話し合う

家族の安否確認には、災害用伝言ダイヤル「171」、携帯電話の「災害用伝言板」を利用しよう。



□防災訓練や研修へ参加

日ごろから訓練を



□地域の連絡網を作る

□防災訓練や研修を行う

チェック2 避難するときに大事な「非常持出品」。3日分を目安に準備して、すぐ持ち出せる場所に置いておき

※下に記載しているものは一般的な例です。ご家庭や地域の事情に合ったものを準備してください。

避難用具

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備の乾電池
- 避難地図

できるだけ1人にひとつ

生活用品

- 手袋(軍手)
- 缶切り・食器類
- ナイフ・はさみ
- ライター・マッチ
- 携帯用トイレ

赤ちゃんの紙おむつや粉ミルクも



医療品など

- 救急セット
- 家族が常用している薬・処方箋の控え
- 生理用品

貴重品

- 現金(札と小銭)
- 免許証・健康保険証の写し
- 預金通帳の写し
- 印鑑

公共電話用の10円玉も

定期的な中身を確認して、期限切れのものは入れ替えを!

防災について学ぼう 県防災研修センター

災害のしくみや防災対策について、映像やパネル展示などでわかりやすく学べる施設です。防災アドバイザーによる出前講座もあります。(入館料・各種講座は無料です。)

開館時間 午前8時30分～午後5時
 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日休み)
 12月29日～1月3日
 所在地 始良市平松6252番地
 ☎ 0995(64)5251
 FAX 0995(66)5909
 URL <http://www.kagoshimabousai.jp/>



特別警報を知っていますか

これまでの警報の発表基準をはるかに超える豪雨などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に気象庁から発表されます。特別警報は、**これまでにない危険が迫っている**ことをお知らせするものです。

特別警報が発表されたら、ただちに命を守る行動をとりましょう!

- 経験したことのないような異常な現象が起きそうな状況です。
- この数十年間災害の経験がない地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。

特別警報が発表されなくても安心はせず、最新の気象情報などに留意して、警戒してください。

特別警報に相当する過去の大雨の例

平成5年8.1豪雨	(死者 23人)
平成5年台風13号	(死者 33人)
平成18年7月鹿児島県北部豪雨	(死者 5人)



感染症を予防しよう ～感染症にかからない、うつさないために～

風しん～予防接種で生まれてくる子どもを守れます

昨年、全国で流行し、本県でも多くの患者が発生した風しんについて、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 西 順一郎教授に伺いました。



—今年の流行は、どのようになっていますか？

昨年は、本県でも386人の患者(平成24年は4人)が発生しました。今年は、今のところ流行していませんが、年間を通じて患者の発生はみられますので、今後とも油断はできません。

—風しんとは、どのような病気ですか？

発熱、発疹、リンパ節の腫れがみられます。風しんウイルスを含んだ感染者の唾液が飛び散り、他の人に感染します。

1番の問題は、妊婦が感染すると生まれてくる赤ちゃんが**先天性風しん症候群**になる可能性があることです。難聴、眼の異常、心臓の病気、発達の遅れなどがみられます。妊婦に発熱などの症状が出なくても赤ちゃんに異常が出ることもあります。

—予防対策がありましたら、教えてください。

手洗いやうがいだけでは予防は不可能です。予防接種で風しんに対する免疫をつけるしか予防方法はありません。

定期接種では現在2回接種していますが、1回しか接種していない方は発症する危険がありますので、ぜひ2回目を接種してください。また、これまで接種対象ではなかった30～40代の男性は特に免疫のない方が多いので、ワクチンの接種が必要です。



風しん抗体検査

免疫を持っているかは抗体検査でわかります。先天性風しん症候群を予防するため、妊娠を希望する女性やその同居者などを対象とした無料の風しん抗体検査を県内の医療機関で実施しています。

詳しくは、県や鹿児島市のホームページをご覧ください。か、県庁健康増進課または鹿児島市保健所(☎099-258-2358)へお問い合わせください。

風しん以外の感染症にもご注意ください

○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

SFTSウイルスを持つマダニに咬まれると発熱や吐き気、おう吐、下痢などの症状が出て、重症化すると死亡する場合があります。

草むらや藪に入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。

咬まれた場合は無理に引き抜かず、皮膚科などの医療機関で処置しましょう。

○結核

現在でも全国で2万人以上の患者が発生しています。

2週間以上、せきやたん、微熱が続くときは早めに医療機関を受診しましょう。

○ウイルス性肝炎(B・C型肝炎)

早期発見・早期治療のために一度は検査を受けましょう。検査は、保健所で原則無料、匿名で受けることができます。